

【分配金のお知らせ】

2016年9月16日

野村アセットマネジメント株式会社

「野村新米国ハイ・イールド債券投信(通貨選択型)」「毎月分配型」の 2016年9月15日決算の分配金について

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

「野村新米国ハイ・イールド債券投信(通貨選択型)」「毎月分配型」の2016年9月15日決算の分配金についてご案内いたします。

今回の決算におきまして、各対象通貨および米国ハイ・イールド債市場の動向と、それに伴う基準価額水準の下落傾向等を勘案し、「豪ドルコース」、「ブラジルリアルコース」、「南アフリカランドコース」および「トルコリラコース」の分配金を引き下げることといたしました。

なお、その他のコースにつきましては、前回決算の分配金額からの変更はございません。

「豪ドルコース」、「ブラジルリアルコース」、「南アフリカランドコース」および「トルコリラコース」の分配金引き下げに関する詳細な説明は、次ページ以降をご参照ください。

【分配金】(1万口当たり、課税前)

ファンド	円コース (毎月分配型)	豪ドル コース (毎月分配型)	ブラジル リアルコース (毎月分配型)	南アフリカ ランドコース (毎月分配型)	トルコリラ コース (毎月分配型)	米ドル コース (毎月分配型)	メキシコペソ コース (毎月分配型)
分配金額 (前回決算)	30円 (30円)	50円 (70円)	40円 (60円)	30円 (40円)	40円 (60円)	30円 (30円)	50円 (50円)
決算日の基準価額	8,821円	9,058円	4,642円	4,370円	4,356円	9,527円	6,453円
決算日の基準価額(分配金再投資) (前回決算)	15,420円 (15,467円)	19,138円 (19,491円)	17,233円 (17,866円)	14,134円 (14,937円)	14,757円 (14,667円)	10,231円 (10,172円)	7,496円 (7,748円)
分配金額設定来累計	5,520円	8,570円	10,440円	9,170円	8,900円	750円	1,250円

- ・ 設定日:各コース(「米ドルコース」、「メキシコペソコース」を除く)は2009年5月27日、「米ドルコース」「メキシコペソコース」は2014年8月11日
- ・ 前回決算:2016年8月15日
- ・ 基準価額(分配金再投資)とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したものと計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

【「毎月分配型」の分配の方針】

原則、毎月15日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。

分配金額は、分配対象額の範囲で委託会社が決定するものとし、原則として利子・配当等収益等を中心に分配を行ないます。ただし、基準価額水準等によっては売買益等が中心となる場合があります。また、毎年5月および11月の決算時には、基準価額水準等を勘案し、上記分配相当額のほか、分配対象額の範囲内で委託会社が決定する額を付加して分配する場合があります。

* コースによっては、投資信託約款上「原則として、利子・配当等収益等を中心に安定分配を行なう」方針としていますが、これは、運用による収益が安定したものになることや基準価額が安定的に推移すること等を示唆するものではありません。また、基準価額の水準、運用の状況等によっては安定分配とならない場合があることにご留意下さい。

分配金は、投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものとあり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資する場合は、為替変動リスクもあります。)ので基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

【各コースの分配金引き下げの背景】

豪ドルコース（毎月分配型）

今回の決算におきまして、「豪ドルコース(毎月分配型)」の分配金を70円から50円に引き下げました。

「豪ドルコース(毎月分配型)」の基準価額は、2014年12月30日には12,736円でしたが、その後概ね下落基調で推移し、2016年9月15日現在9,058円となりました。同期間の騰落率は-28.9%でした。なお、分配金を加味した基準価額(分配金再投資)の同期間の騰落率は-14.4%となりました。

豪ドル(対円)の為替レートは、2014年末以降、資源価格の下落や中国の景気後退懸念などを背景に下落(円高)しました。

豪ドルの短期金利は、2014年末以降低下基調で推移し、2016年8月末現在、1.6%となりました。

円高豪ドル安や一時下落基調であった米国ハイ・イールド債市場の動向、基準価額水準および基準価額に対する分配金額などを総合的に勘案し、また、信託財産の着実な成長を目指すべく、前回の分配金引き下げ(2016年6月15日決算において100円⇒70円)に続き、今回の決算において分配金を引き下げることにしました。

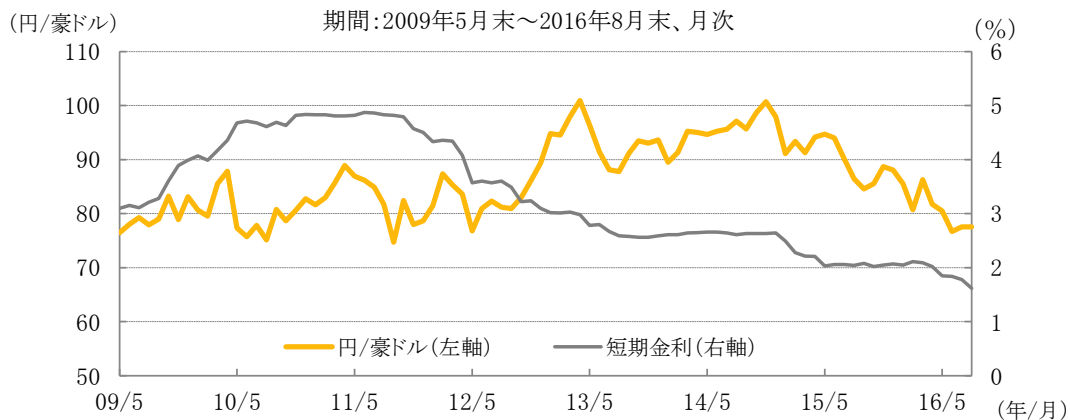
<「豪ドルコース（毎月分配型）」の基準価額の推移>



基準価額(分配金再投資)とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したもとして計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

<豪ドルの為替レート（対円）と短期金利の推移>



(出所)ブルームバーグのデータに基づき野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。
また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資する場合は、為替変動リスクもあります。)ので基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡す投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

【各コースの分配金引き下げの背景】

ブラジルリアルコース（毎月分配型）

今回の決算におきまして、「ブラジルリアルコース(毎月分配型)」の分配金を60円から40円に引き下げました。

「ブラジルリアルコース(毎月分配型)」の基準価額は、2014年12月30日には7,393円でしたが、その後概ね下落基調で推移し、2016年9月15日現在4,642円となりました。同期間の騰落率は-37.2%でした。なお、分配金を加味した基準価額(分配金再投資)の同期間の騰落率は-13.9%となりました。

ブラジルリアル(対円)の為替レートは、2014年末以降、資源価格の下落や政治的混乱、大手格付け会社による格下げなどを背景に下落(円高)しました。

ブラジルリアルの短期金利は、2014年末以降上昇基調で推移し、2016年8月末現在、14.2%となりました。

円高ブラジルリアル安や一時下落基調であった米国ハイ・イールド債市場の動向、基準価額水準および基準価額に対する分配金額などを総合的に勘案し、また、信託財産の着実な成長を目指すべく、前回の分配金引き下げ(2016年6月15日決算において80円⇒60円)に続き、今回の決算において分配金を引き下げることにしました。

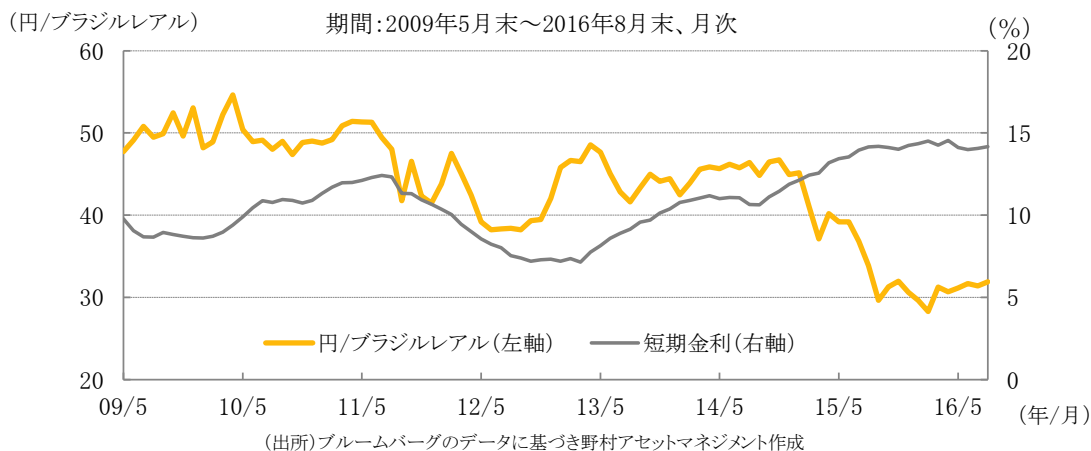
＜「ブラジルリアルコース（毎月分配型）」の基準価額の推移＞



基準価額(分配金再投資)とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したものと計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

＜ブラジルリアルの為替レート（対円）と短期金利の推移＞



上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資する場合は、為替変動リスクもあります。)ので基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡す投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

【各コースの分配金引き下げの背景】

南アフリカランドコース（毎月分配型）

今回の決算におきまして、「南アフリカランドコース(毎月分配型)」の分配金を40円から30円に引き下げました。

「南アフリカランドコース(毎月分配型)」の基準価額は、2014年12月30日には7,051円でしたが、その後概ね下落基調で推移し、2016年9月15日現在4,370円となりました。同期間の騰落率は-38.0%でした。なお、分配金を加味した基準価額(分配金再投資)の同期間の騰落率は-19.3%となりました。

南アフリカランド(対円)の為替レートは、2014年末以降、米国の利上げ懸念や資源価格の下落などを背景に下落(円高)しました。

南アフリカランドの短期金利は、2013年7月末以降上昇基調で推移し、2016年8月末現在、7.1%となりました。

円高南アフリカランド安や一時下落基調であった米国ハイ・イールド債市場の動向、基準価額水準および基準価額に対する分配金額などを総合的に勘案し、また、信託財産の着実な成長を目指すべく、前回の分配金引き下げ(2016年6月15日決算において60円⇒40円)に続き、今回の決算において分配金を引き下げることにしました。

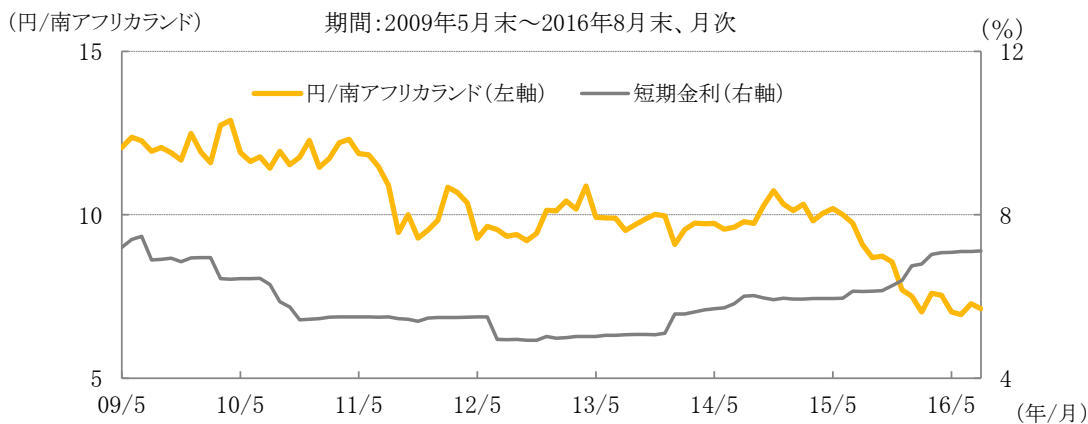
＜「南アフリカランドコース（毎月分配型）」の基準価額の推移＞



基準価額(分配金再投資)とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したものと計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

＜南アフリカランドの為替レート（対円）と短期金利の推移＞



(出所)ブルームバーグのデータに基づき野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資する場合は、為替変動リスクもあります。)ので基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

【各コースの分配金引き下げの背景】

トルコリラコース（毎月分配型）

今回の決算におきまして、「トルコリラコース(毎月分配型)」の分配金を60円から40円に引き下げました。

「トルコリラコース(毎月分配型)」の基準価額は、2014年12月30日には7,116円でしたが、その後概ね下落基調で推移し、2016年9月15日現在4,356円となりました。同期間の騰落率は-38.8%でした。なお、分配金を加味した基準価額(分配金再投資)の同期間の騰落率は-17.8%となりました。

トルコリラ(対円)の為替レートは、2014年末以降、国内政治リスクの高まりや米国の利上げ懸念などを背景に下落(円高)しました。

トルコリラの短期金利は、2016年初から下落基調で推移し、2016年8月末現在、8.7%となりました。

円高トルコリラ安や一時下落基調であった米国ハイ・イールド債市場の動向、基準価額水準および基準価額に対する分配金額などを総合的に勘案し、また、信託財産の着実な成長を目指すべく、前回の分配金引き下げ(2016年6月15日決算において80円⇒60円)に続き、今回の決算において分配金を引き下げることとしました。

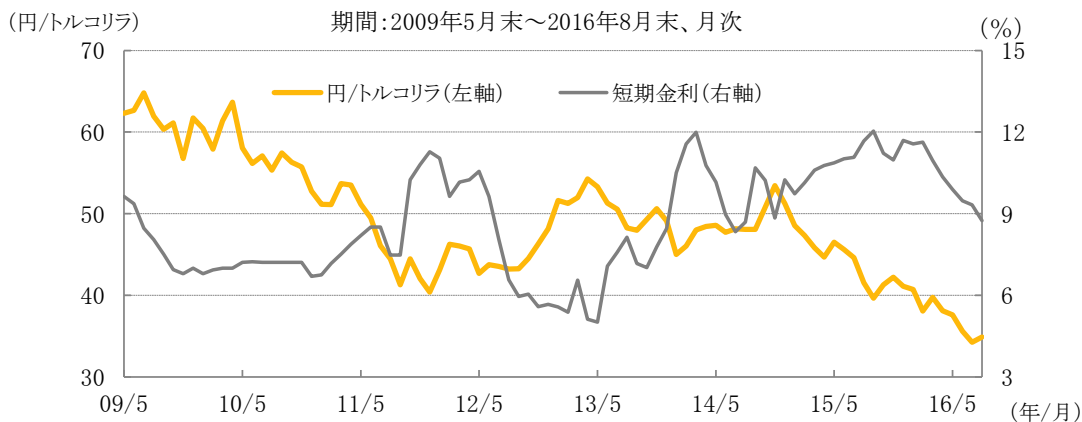
<「トルコリラコース（毎月分配型）」の基準価額の推移>



基準価額(分配金再投資)とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したものと計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

<トルコリラの為替レート（対円）と短期金利の推移>



(出所)ブルームバーグのデータに基づき野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資する場合は、為替変動リスクもあります。)ので基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡す投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

【米国ハイ・イールド債の投資環境と今後の見通し】

米国ハイ・イールド債市場について

●ここまでの投資環境

ファンドが実質的に投資対象とする米国ハイ・イールド債(BB～B格)[※]のパフォーマンスは、2015年半ばから2016年初にかけて下落する局面もありましたが、概ね堅調に推移しました。

2015年6月～2016年2月中旬まで、下落が続く

2015年6月以降は、原油価格の下落、ギリシャのデフォルト、中国の景気減速懸念などを背景に世界経済の先行きに対する警戒感が高まったことから米国ハイ・イールド債は下落基調となりました。2015年12月に米金融当局が利上げを決定したことや原油価格がさらに下落し、金融市場の混乱が継続したことから、2016年に入っても、当初は下落しました。

2016年2月中旬以降、足元で反発

2月中旬以降、原油価格が回復したことや米国の利上げが緩やかなペースになるとの観測が広がったことなどから、世界経済の先行きに対する不透明感が後退し、反発しました。その後、英国のEU離脱問題を背景とした投資家のリスク回避的な動きから、米国ハイ・イールド債が一時的に下落する局面もありましたが、足元は再び反発基調となっています。

●今後の見通し

米国ハイ・イールド債市場は、堅調な米国経済や、相対的に低水準であるエネルギー価格に支えられ、また利回りも引き続き魅力的な水準にあることから、今後も良好なリターンを提供すると考えています。

原油価格の回復と、米国経済への内需面での期待

原油価格は昨年後半から下落が続いていましたが反発し始めています。米国の原油・天然ガスのリグ(掘削装置)の稼働数は直近ピークから大幅減となっており、減産による需給調整の動きが進みつつあることから、今後も原油価格は堅調に推移すると予想されます。

また、相対的に低水準であるエネルギー価格や雇用環境の改善から消費者の可処分所得は上昇しており、米国経済は内需を中心に底堅く推移しています。

以上から米国ハイ・イールド債券市場を取り巻く環境は以前よりも、問題点が解消・改善されていると、見るができます。

米国ハイ・イールド債の魅力的な利回りの高さ

2016年2月中旬以降、米国ハイ・イールド債券市場は反発してきましたが、足元の利回りや対米国国債のスプレッド(利回り格差)水準は相対的に高く、過去と比較しても依然として割安感があります。

米国以外の先進国である日本や欧州ではマイナス金利政策が導入され、当面は先進国で低金利環境の継続が予想される中、米国ハイ・イールド債券の利回りは5%を超える水準にあります(2016年8月末現在)。市場でも相対的に高い利回りに注目した資金流入が戻ってきており、需給面から米国ハイ・イールド債市場を押し上げる動きが見られます。こうした背景から、今年度の米国ハイ・イールド債市場は底堅く推移するものと考えています。

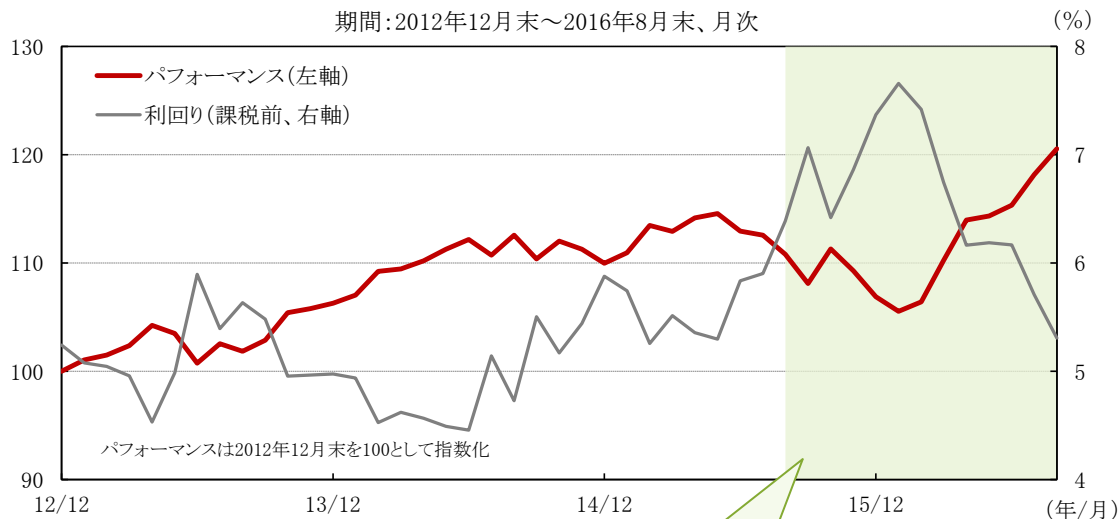
※ BofA・メリルリンチ・US ハイ・イールド・キャッシュ・ペイ・BB-B レイテッド・コンストレインド・インデックス

【米国ハイ・イールド債の投資環境と今後の見通し】

米国ハイ・イールド債市場について

＜米国ハイ・イールド債(BB～B格)のパフォーマンスと利回りの推移＞

期間：2012年12月末～2016年8月末、月次



期間：2015年8月31日～2016年8月31日、日次



米国ハイ・イールド債(BB～B格)(米ドル建て)：BofA・メリルリンチ・US ハイ・イールド・キャッシュ・ペイ・BB-B レイティド・コンストレインド・インデックス
(出所)ブルームバーグのデータに基づき野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。
また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当資料で使用した金利・市場指数について

【各通貨の短期金利】

●家ドル：銀行手形1ヵ月、ブラジルリアル：国債1ヵ月、南アフリカランド：ヨハネスブルグ・インターバンク・アグリド・レート1ヵ月、トルコリラ：インターバンク・オファー・レート1ヵ月

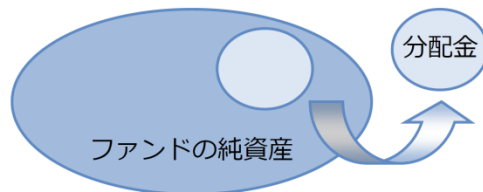
【市場指数】

●BofA・メリルリンチ・US ハイ・イールド・キャッシュ・ペイ・BB-Bレイティド・コンストレインド・インデックスは、バンクオブアメリカ・メリルリンチが算出する指数です。当該指数に関する一切の知的財産権その他一切の権利はバンクオブアメリカ・メリルリンチに帰属しております。

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資する場合は、為替変動リスクもあります。)ので基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

分配金に関する留意点

●分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。



●ファンドは、計算期間中に発生した運用収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。

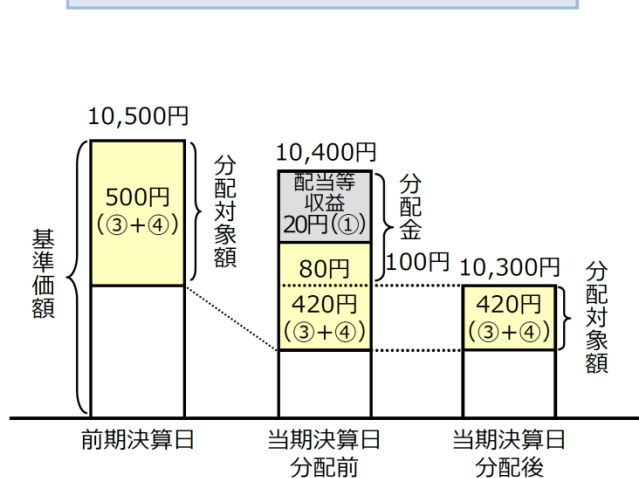
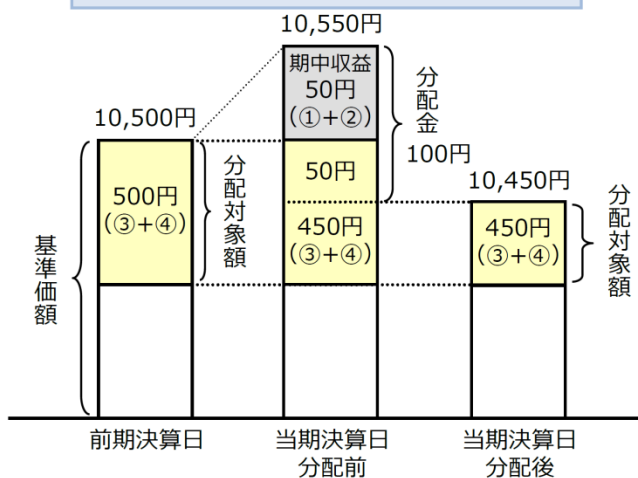
・計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。

※分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

分配対象額とは、①経費控除後の配当等収益②経費控除後の評価益を含む売買益③分配準備積立金④収益調整金です。

前期決算から基準価額が上昇した場合

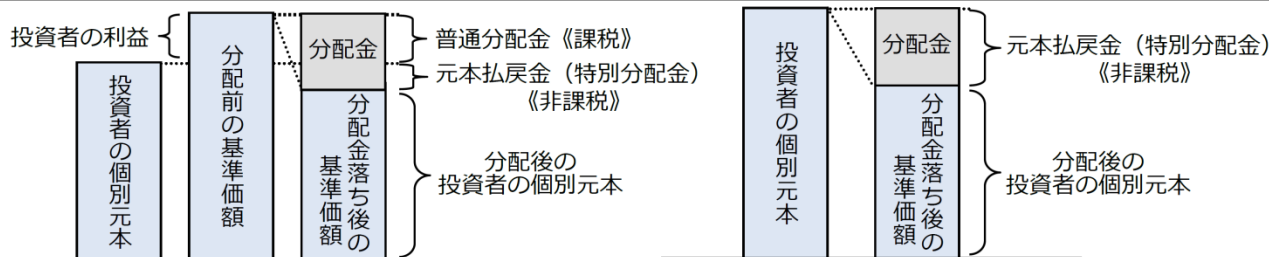
前期決算から基準価額が下落した場合



●投資者の個別元本（追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本）の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

◇普通分配金 … 分配金落ち後の基準価額が投資者の個別元本と同額の場合または投資者の個別元本を上回っている場合には分配金の全額が普通分配金となります。

◇元本払戻金（特別分配金） … 分配金落ち後の基準価額が投資者の個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となります。



※投資者が元本払戻金（特別分配金）を受け取った場合、分配金発生時にその個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の投資者の個別元本となります。

（注）普通分配金に対する課税については、投資信託説明書（交付目論見書）の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

上記はイメージ図であり、実際の分配金額や基準価額について示唆、保証するものではありません。

《ファンドの特色》

野村新米国ハイ・イールド債券投信(通貨選択型) 毎月分配型/年2回決算型

- 「野村新米国ハイ・イールド債券投信(通貨選択型)」は、15本のファンド(「毎月分配型」と「年2回決算型」)を有する、為替取引手法の異なる7つのコース(円コース、豪ドルコース、ブラジルリアルコース、南アフリカランドコース、トルコリラコース、米ドルコース、メキシコペソコース)およびマネープールファンド(年2回決算型)から構成されています。
- 各コース(マネープールファンドを除く7つのコースを総称して「各コース」といいます。)
 - ◆高水準のインカムゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を図ることを目的として運用を行ないます。
 - ◆米ドル建ての高利回り事業債(ハイ・イールド・ボンド)を実質的な主要投資対象*とします。
 - ※「実質的な主要投資対象」とは、外国投資信託や「野村マネー マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。
 - ◆円建ての外国投資信託「ノムラ・カレンシー・ファンドーUSハイ・イールド・ボンド・インカム」および国内投資信託「野村マネー マザーファンド」を投資対象とします。
 - ・「ノムラ・カレンシー・ファンドーUSハイ・イールド・ボンド・インカム」には、為替取引手法の異なる7つのクラスがあります。

各コース	各コースが投資対象とする外国投資信託の為替取引手法
円コース (毎月分配型) / (年2回決算型)	米ドル建て資産を、原則として対円で為替ヘッジを行ないます。
豪ドルコース (毎月分配型) / (年2回決算型)	米ドル建て資産について、原則として米ドルを売り、豪ドルを買う為替取引を行ないます。
ブラジルリアルコース (毎月分配型) / (年2回決算型)	米ドル建て資産について、原則として米ドルを売り、ブラジルリアルを買う為替取引を行ないます。
南アフリカランドコース (毎月分配型) / (年2回決算型)	米ドル建て資産について、原則として米ドルを売り、南アフリカランドを買う為替取引を行ないます。
トルコリラコース (毎月分配型) / (年2回決算型)	米ドル建て資産について、原則として米ドルを売り、トルコリラを買う為替取引を行ないます。
米ドルコース (毎月分配型) / (年2回決算型)	米ドル建て資産について、原則として対円で為替ヘッジを行ないません。
メキシコペソコース (毎月分配型) / (年2回決算型)	米ドル建て資産について、原則として米ドルを売り、メキシコペソを買う為替取引を行ないます。

- ◆通常の場合においては、「ノムラ・カレンシー・ファンドーUSハイ・イールド・ボンド・インカム」への投資を中心とします*が、投資比率には特に制限は設けず、各投資対象ファンドの収益性および流動性ならびにファンドの資金動向等を勘案のうえ決定することを基本とします。
 - ※通常の場合においては、「ノムラ・カレンシー・ファンドーUSハイ・イールド・ボンド・インカム」への投資比率は、概ね90%以上を目処とします。
- ◆各コースはファンド・オブ・ファンズ方式で運用します。
- マネープールファンド
 - ◆安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行ないます。
 - ◆円建ての短期有価証券を実質的な主要投資対象*とします。
 - ※「実質的な主要投資対象」とは、「野村マネー マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。
 - ◆「野村マネー マザーファンド」への投資を通じて、残存期間の短い公社債やコマーシャル・ペーパー等の短期有価証券への投資により利息等収益の確保を図り、あわせてコール・ローンなどで運用を行なうことで流動性の確保を図ります。
 - ◆ファンドは「野村マネー マザーファンド」を通じて投資するファミリーファンド方式で運用します。
- 「野村新米国ハイ・イールド債券投信(通貨選択型)」を構成する「毎月分配型」のファンド間および「年2回決算型」のファンド間でスイッチングができます。

●分配の方針

◆毎月分配型

原則、毎月15日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。

分配金額は、分配対象額の範囲で委託会社が決定するものとし、原則として利子・配当等収益等を中心に分配を行ないます。ただし、基準価額水準等によっては売買益等が中心となる場合があります。また、毎年5月および11月の決算時には、基準価額水準等を勘案し、上記分配相当額のほか、分配対象額の範囲内で委託会社が決定する額を付加して分配する場合があります。

※コースによっては、投資信託約款上「原則として、利子・配当等収益等を中心に安定分配を行なう」方針とされていますが、これは、運用による収益が安定したものにすることや基準価額が安定的に推移すること等を示唆するものではありません。また、基準価額水準、運用の状況等によっては安定分配とならない場合があることにご留意下さい。

◆年2回決算型

・各コース

原則、毎年5月および11月の15日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。

分配金額は、分配対象額の範囲で、原則として利子・配当等収益等および基準価額水準等を勘案して委託会社が決定するものとします。

・マネープールファンド

原則、毎年5月および11月の15日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。

分配金額は、原則として基準価額水準等を勘案して委託会社が決定します。

*委託会社の判断により分配を行なわない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

ファンドの基準価額等についてのお問い合わせ先：野村アセットマネジメント株式会社

★サポートダイヤル★ ☎ 0120-753104

(受付時間) 営業日の午前9時～午後5時



★インターネットホームページ★

<http://www.nomura-am.co.jp/>



★携帯サイト★

<http://www.nomura-am.co.jp/mobile/>

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資する場合は、為替変動リスクもあります。)ので基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

◀投資リスク▶

各ファンド(「マネープールファンド(年2回決算型)」を除く)は、投資信託証券への投資を通じて、債券等に実質的に投資する効果を有しますので、金利変動等による当該債券の価格下落や、当該債券の発行体の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。

「マネープールファンド(年2回決算型)」は、債券等を実質的な投資対象としますので、金利変動等による組入債券の価格下落や、組入債券の発行体の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

【お申込メモ】

- 信託期間 【各コース】(米ドルコース、メキシコペソコースを除く)
平成36年5月15日まで(平成21年5月27日設定)
【米ドルコース、メキシコペソコース】
平成36年5月15日まで(平成26年8月11日設定)
【マネープールファンド】
平成31年5月15日まで(平成21年5月27日設定)
- 決算日および収益分配 【毎月分配型】年12回の決算時(原則、毎月15日。
休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
【年2回決算型】年2回の決算時(原則、5月および11月の15日。
休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
- ご購入価額
●ご購入単位 ご購入申込日の翌々営業日の基準価額
1万口以上1万口単位(当初元本1口=1円)
または1万円以上1円単位
なお、「マネープールファンド」は、「年2回決算型」の他のファンドからのスイッチング以外によるご購入はできません。
※ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。
- ご換金価額 【各コース】ご換金申込日の翌々営業日の基準価額から
信託財産留保額を差し引いた価額
【マネープールファンド】ご換金申込日の翌々営業日の基準価額
「毎月分配型」のファンド間および「年2回決算型」のファンド間で
スイッチングが可能です。
※販売会社によっては、一部または全部のスイッチングのお取扱いを行わない
場合があります。
- お申込不可日 各コースは、販売会社の営業日であっても、申込日当日あるいは
申込日の翌営業日が、下記のいずれかの休業日に該当する場合
または12月24日である場合には、原則、ご購入、ご換金、
スイッチングの各お申込みができません。
・ニューヨーク証券取引所 ・ニューヨークの銀行
・ロンドンの銀行 ・ルクセンブルクの銀行
- 課税関係 個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時
(スイッチングを含む)および償還時の譲渡益に対して課税され
ます。ただし、少額投資非課税制度などを利用した場合には
課税されません。なお、税法が改正された場合などには、
内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせ
ください。

【当ファンドに係る費用】

(2016年9月現在)

◆ご購入時手数料	ご購入価額に3.24%(税込3.0%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 <スイッチング時> 販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 なお、「マネープールファンド」へのスイッチングの場合は無手数料 *詳しくは販売会社にご確認ください。
◆運用管理費用 (信託報酬)	【各コース】 ファンドの純資産総額に年0.9504%(税抜年0.88%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。 ○実質的にご負担いただく信託報酬率 年1.6504%程度(税込) *ファンドが投資対象とする外国投資信託の信託報酬を加味して、投資者が実質的に負担する信託報酬率について算出したものです。 【マネープールファンド】 ファンドの純資産総額に年0.594%(税抜年0.55%)以内(平成28年8月12日現在年0.001188%(税抜年0.0011%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。
◆その他の費用 ・手数料	組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
◆信託財産留保額 (ご換金時、スイッチングを含む)	【各コース】 1万口につき基準価額に0.3%の率を乗じて得た額 【マネープールファンド】 ありません。

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。
※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

【ご留意事項】

- ・投資信託は金融機関の預金と異なり、元本は保証されていません。
- ・投資信託は預金保険の対象ではありません。
- ・登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金制度が適用されません。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

商号:野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
加入協会:一般社団法人投資信託協会/一般社団法人日本投資顧問業協会

野村新米国ハイ・イールド債券投信(通貨選択型)

お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
いよぎん証券株式会社	金融商品取引業者	四国財務局長(金商)第21号	○			
野村證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第142号	○	○	○	○

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。

※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。